

## 「ノルウェージャン・ジョイ」が北九州港に初寄港しました！

平成29年6月18日（日）午前9時、ひびきコンテナターミナルにノルウェージャン・クルーズ・ラインの16万トン級クルーズ船「ノルウェージャン・ジョイ」が寄港しました。同船は、今年6月からアジア向けに就航を開始した新造船で、天津と上海を母港としています。北九州港（ひびき）は、高知に続き、日本で2番目の寄港地となりました。

入港時は、若松五平太ばやしの演奏で賑やかに出迎え、「スナQ」や「くろさき官兵衛タン」と一緒に旗を振って歓迎しました。今回は、中国本土の旅行社及びお得意様、約2,400名が招待された日本就航記念のプロモーション用クルーズとして企画されました。乗客たちは69台の観光バスに分乗し、小倉城や門司港レトロ地区の観光、産地直送市場「海と大地」及び臨時出店した免税店でのショッピングを楽しみました。船内では、北九州市副市長や関係者による歓迎式典を開催し、北九州市からは小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と日本人形、花束を贈呈しました。式典後に行われたシップツアーでは、緑あふれる屋上デッキやカートレース場を見学しました。船内は至る所に木材が使われ、洗練されたモダンな空間でした。

また、クルー向けのおもてなしツアーには、93名が参加し、若松と黒崎の2つのコースを楽しみました。若松コースでは、当日開催されていた高塔山の「あじさい祭り」で満開を迎えたあじさいの観賞や屋台での買い物が大好評でした。黒崎コースでは、商業施設内で甲冑や浴衣の着付け、煎茶のふるまいなど日本文化体験とショッピングを楽しみました。

16時、出港にあわせて北九州市消防音楽隊・カラーガード隊による華やかな演奏と演技で見送られるなか、「ノルウェージャン・ジョイ」は青空の下、母校である天津港へ向けて出港しました。



「ノルウェージャン・ジョイ」 全長：333.5m 総トン数：167,725 t



歓迎式典後、ハメリン船長を囲んで記念撮影



黒崎オブショナルツアーでのウェルカムセレモニー「大杯の儀」



北九州市消防音楽隊・カラーガード隊による演奏で盛大にお見送り